

市民協働かわら版

No.51

発行 泉南市総合政策部政策推進課
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一―
Tel: 〇七二―四八三―〇〇〇四

(平成三十年九月二十七日発行)

九月二十五日(火)平成三十年度第六回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、八名(市民五名、職員三名)の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

泉南市に大きな被害をもたらした台風二十一号、大規模な停電、家屋の破損、泉州地域は災害が少ないところといわれていましたが、認識を改める必要がありそうです。源氏物語二十八帖の題名は「野分」(台風の当時の名称)。大風で木が倒れたり、瓦が飛んだりという描写があります。いつの時代でも自然災害は恐ろしいものです。災害時、大切なのは人の繋がりで。誰かと繋がることで対応の幅が大きく広がります。街づくりを考えるうえで災害対策について考えることは重要な課題の一つです。

◎泉南街道物語【海会寺編】

九月十八日(火)泉南街道物語【海会寺編】を開催しました。二十六名が参加して、サロン

街歩きのすすめ

泉南市は三十三の区があります。主に旧の村が単位となっています。泉南市民でも全てを空で言える方は少ないのではないのでしょうか。実際に



行ったことのない地域もあることでしょう。山間部の集落には豊かな里山が残っています。海辺の地区の港には漁船が停泊しています。お時間ある方は、ぜひ泉南市の街歩きをしてみてください。きっと新しい発見があるはず。家族や友達といっしょに歩いてみる、カメラ片手にインスタ映え狙い、お弁当を持ってサイクリングなんかも楽しいです。せっかく泉南市に暮らしているんですから、もっと泉南市を知って楽しんでみては。地図をもって、ときには何も持たずに、フィールドは泉南市、主人公はあなた、身近な冒険の旅に出てみませんか。

参加者による「海会寺」の解説、その後、埋蔵文化財センターの収蔵庫の見学をしました。旧石器時代の石器、古墳時代の勾玉、鎌倉時代の蝸壺等々、泉南市から出土した遺物に参加者の目が輝きます。最後は、国の史跡「海会寺跡」でフィールドワークです。古代寺院の伽藍配置、豪族の住居跡、当時の地層などを実際に見てもらいました。なかなか充実した内容でした。

◎次回【長慶寺編】

泉南街道物語、第三回は【長慶寺編】を予定しています。ときは十二月六日(木)十時から、場所は信達市場地区にある名刹「長慶寺」です。内容は、地元の市民による長慶寺の歴史などのお話と長慶寺の見学です。長慶寺は、第二回で紹介した「海会寺」の流れを汲む古刹です。ぜひご参加ください。

◎泉南街道物語、今後の予定

今後の予定について参加者で話し合いました。【熊野街道編】【浜街道編】【根来街道編】【大師道編】紹介したいところがたくさんあります。岡田浦のハマヒルガオを紹介したい、神武東征伝説にちなんだ街歩きも面白いね。いくらでも意見が出てきます。

◎文化の伝承

泉南のいいところを子ども達へ伝えたいとの意見ができました。文化は伝承していくものなので、子どもときから豊かな伝統や自然に触れる機会を作りたい。親子で参加できたら若い世代の市民参画も進むのでは。

◎気軽に街づくり

街づくりは堅苦しいものではないです。無理せず楽しく仲間作りと知恵の共有。豊かな生活についてサロンで一緒に考えてみませんか。

街づくりを
楽しもう!



泉南市マスコットキャラクター
「せんなんまじろう」
「泉南熊寺郎」「せんくま」